

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に...

商品をよく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後...

取扱説明書をお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

説明図中の部品には、< >で同梱先を表示しています。

チェックシート

組立・施工時、本文中に表示している「チェックマーク」の確認をしてください。

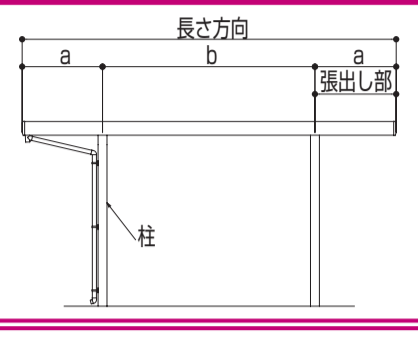
項目	チェック欄
① 基礎寸法	
② シーリング	
③ 柱の間隔・垂直・対角・後枠の水勾配	
④ 側枠・垂木取付ねじの締付け	
⑤ 柱の水抜き穴	
⑥ 屋根材のみ込み	
⑦ 屋根材押えの押しあて	
⑧ 屋根材押え取付ねじの締付け	

注意

- このカーポートは積雪～20cm地域用（積載荷重 600N/m²（61.2kgf/m²））です。積雪量が20cmを超える前に雪おろしをすることを施主様に確認してください。商品が破損するおそれがあります。雪おろしの目安は、積雪1cm当たり30N/m²で計算しています。
- 濡った雪の場合等は、1cm当たりの重さがさらに大きくなる場合がありますので、早めに雪おろしを行ってください。
- カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。商品に倒壊のおそれがあります。
- 屋根材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まっているから行ってください。
- 基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。
- 脚立を使用する際は、天板の上に乗ること、またかかと、産ることが禁止されています。
- 脚立は、脚立メーカー発行の取扱説明書を必ずお読みの上、ご使用ください。

注意

長さ方向張り出し部のみ切詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪時や暴風時に商品が破損するおそれがあります。
切詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。



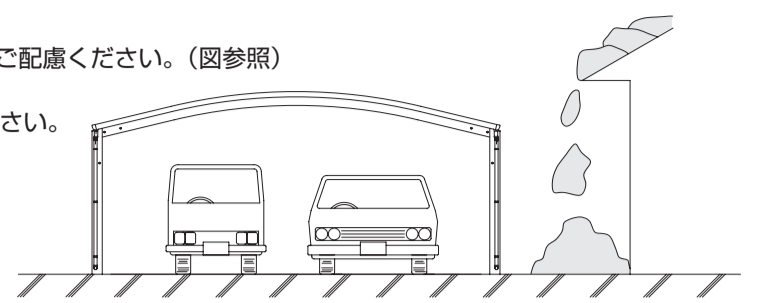
シーリングは必ず実施してください!

- 「シーリングマーク」で表示している箇所のシーリングは必ず行ってください。シーリングがされないこと、漏水の原因となります。
- ポリカーボネート板へのシーリングは、ひび割れ防止のためと樹脂との接着性が良い脱アコロール形のシーリング材をご使用ください。（別途手配品）

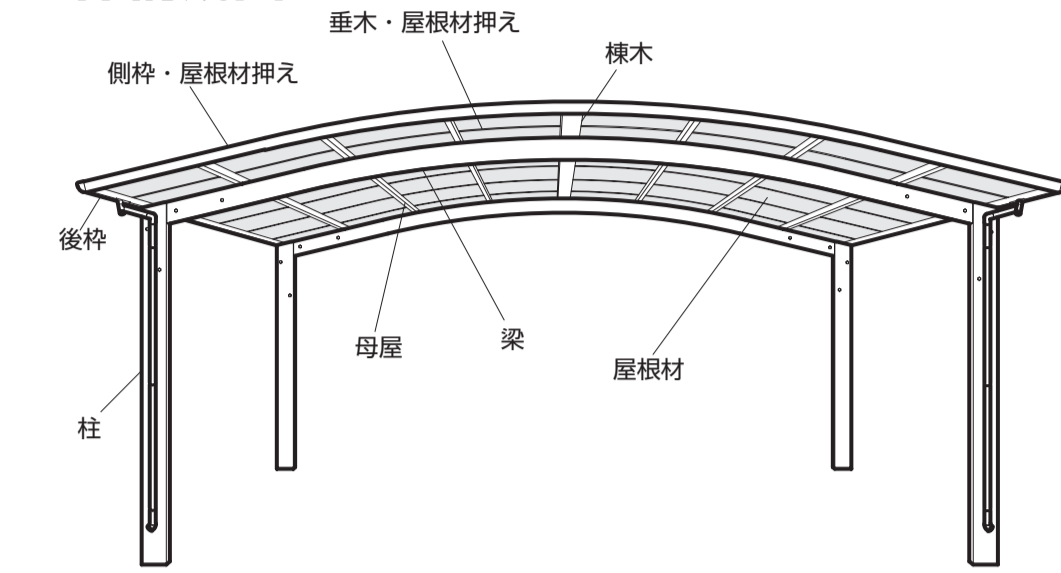


お願い

- 屋根からの落雪が予想される場所では、カーポートに直接落雪しないようご注意ください。（図参照）
- みだりに改造や変更はしないでください。
- 基礎コンクリートには塩化系の混和剤（急結剤等）や海砂を使用しないでください。柱の腐食の原因となります。
- 屋根面に銀色フィルムを貼らないでください。太陽光線の反射により火災のおそれがあります。
- 凍結防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。
- 柱立ては、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。締め付け不良は漏水や性能低下および事故の原因となります。
- ユニットの組替え等により製作する場合は製作範囲を確認してください。製作範囲を超えると事故（人損、物損）の原因となります。
- カーポートの上に乗らないでください。カーポートにはしこかけないでください。カーポートの破損だけでなく落下事故の原因となります。
- 部材を切詰めする際、水密材のかしめ部分を切断する場合は、部材の端部をペンチ等がかしめ直してください。



全体構成図



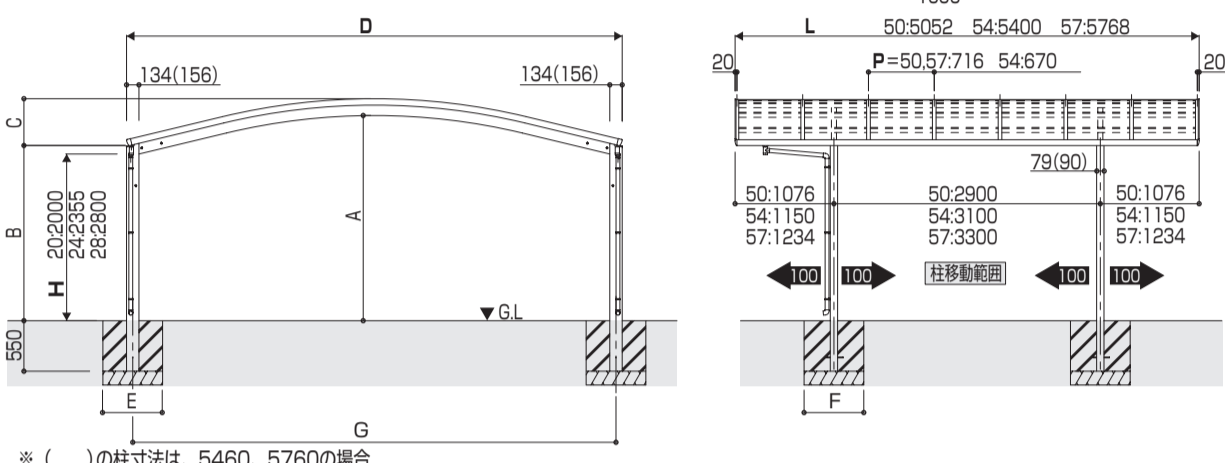
寸法図(単位: mm)

土間コンクリート考慮基礎条件

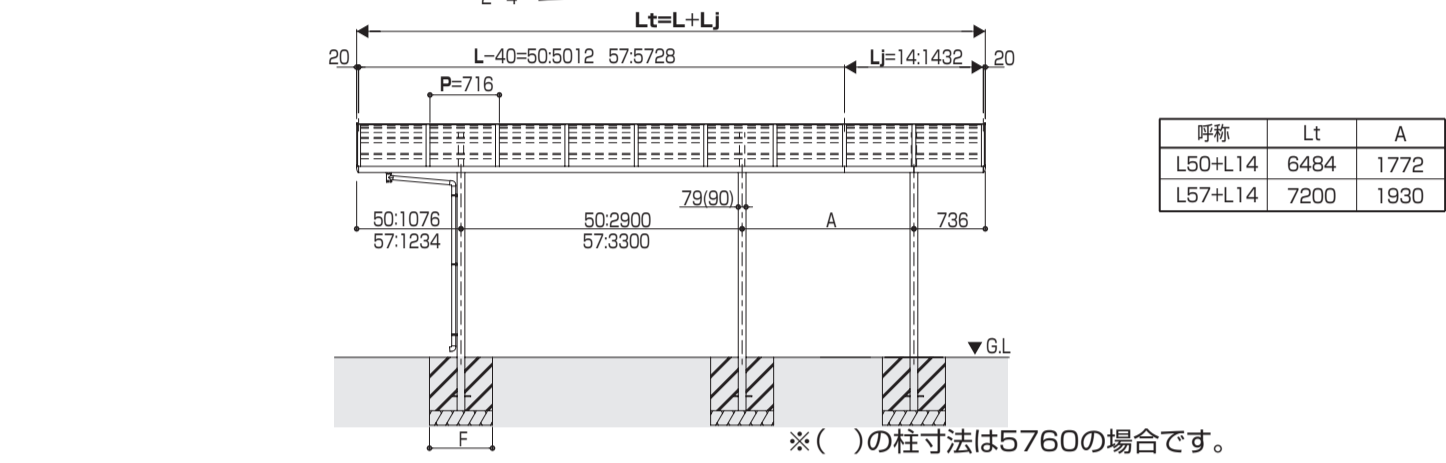
本基礎の場合は、下記各条件を満たしていることを確認してください。
条件を満たしていない場合は、「独立基礎」の大きさにして施工してください。

基礎条件	要件
① 土間コンクリート厚	100mm以上、有筋
② 土間コンクリート強度	18N/㎡以上
③ 緑端距離	200mm以上
④ 地耐力	50kN/㎡以上

■基本セット



■基本+延長セット



お願い

屋根の長さ方向に水勾配 2~4/1000 mmをつけてください。
雨樋側の柱高さを6~14mm低くすると、2~4/1000 mmの水勾配になります。
逆勾配は雨漏り・雨溜まりの原因になります。

呼称	D	G	H	A	B	C
D48	4801	4666	2000	2348	2039	438
			2000	2703	2440	
			2800	3148	2833	
D51	5087	4952	2000	2383	2039	474
			2000	2738	2440	
			2800	3183	2833	
D54	5392	5257	2000	2419	2039	509
			2000	2774	2440	
			2800	3219	2833	
D60 (L50)	5983	5848	2000	2490	2039	580
			2000	2845	2440	
			2800	3290	2833	
D60 (L54・L57)	5827	5682	2000	2485	2106	
			2000	2840	2401	
			2800	3285	2802	

●土間コンクリート考慮基礎の場合
※採用条件については、土間コンクリート考慮基礎条件を参照

カーポートサイズ	D60	柱間隔のサイズ
基礎寸法 E×F	470×470	410×410

●独立基礎の場合

カーポートサイズ	D48・51・54	D60
基礎寸法 E×F	670×670	700×700

同梱一覧

■柱ユニット HC#-(DS)#A##
HC#-(DS)#A##-1#
HCD-(DS)WA##A-2T2

部品	部品
柱	呼び棒
品番	K-34805 K-34805
HC#-(DS)#A20#	2 1 (L=1950) 1 (L=1300)
HC#-(DS)#A24#	2 1 (L=2300) 1 (L=1300)
HCD-(DS)WA20A-2T2	2 2 (L=1950) 2 (L=1300)
HCD-(DS)WA24A-2T2	2 2 (L=2300) 2 (L=1300)
HCD-(DS)A28B-1T	1 1 (L=2750) 1 (L=1300)
HCD-(DS)A28B-1	1 - -
HCS-(DS)RA20A-1T	1 1 (L=1950) 1 (L=1300)
HCS-(DS)RA24A-1T	1 1 (L=2300) 1 (L=1300)

■梁ユニット HCD-(DS)WB###
HCD-(DS)WB###-1

部品名	品番
梁	-
HCD-(DS)WB###	2
HCD-(DS)WB###-1	1

■母屋 HCD-(DS)WL####

部品名	品番
母屋	-
HCD-(DS)WL5#36	5
HCD-(DS)WL5#42	4
HCD-(DS)WL5#6	6
HCD-(DS)WL5#60	8

■連続部品ユニット HC#-(DS)#GJ##

■棟木・後枠・母屋ユニット(延長セット用) HCD-(DS)WD14###

部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品
前枠連結材	後枠連結材	後枠連結金具	母屋連結材	ドレン	穴隠し	雨樋セット	
品番	3K-19543	4K-17641	4K-17642	4K-16287	2K-31200	K-36937	EA-E1
備考							
HCD-(DS)WGJ36	-	-	2	5	2	2	-
HCD-(DS)WGJ42	-	-	2	2	4	2	-
HCS-(DS)RGJ	-	1	1	3	1	1	-
HCD-(DS)WD1436	-	2	5	2	5	2	2
HCD-(DS)WD1442	1	2	4	2	2	2	2
HCD-(DS)WD14	1	2	6	2	2	2	2
HCD-(DS)WD1460	1	2	8	2	2	2	2
HCD-(DS)WD1460C	1	2	8	2	2	2	2

■側枠ユニット HCD-(DS)WC##

部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品
側枠	屋根材押え	パッキン	後枠キャップ	後枠キャップ	棟木小口カバー	ドレン
品番	-	3K-21853	2K-39039	2K-39040	K-36941	2K-31200
備考	(側枠用)					
HCD-(DS)WC36以外	2	4	2	2	2	2
HCD-(DS)WC36	2	2	2	2	2	2

■棟木・後枠ユニット HCD-(DS)WD####

部品名	品番
棟木	-
後枠	-
HCD-(DS)WD5#	1
HCD-(DS)WD#36	2

■垂木ユニット HC#-(DS)#E####

部品名	品番	備考
垂木	-	(垂木用)
屋根材押え	-	
HCD-(DS)WE5136・HCS-(DS)RE51#	6	6
HCD-(DS)WE36・HCS-(DS)RE#	7	7
HCS-(DS)RE2221	2	2
HCS-(DS)RE2921	3	3

■連続垂木ユニット HC#-(DS)#EJ##

部品名	品番	個数
連続垂木	-	1
屋根材押え	-	1

■ジョイント材ユニット CC#-(DS)#G####

部品名	品番
ジョイント材	-
CCD-(DS)WJ,N	4
CCD-(DS)WJ2,N	2
CCS-(DS)RG2J	-

■屋根材ユニット(厚さ: 1.8mm)

ユニット記号	長さ	幅	数量
CCD-(DS)TF36-2#	3591	700	2
CCD-(DS)TF36-3#		700	3
CCD-(DS)TF5436-2#		654	2
CCS-(DS)RF21-3#	2082	706	3
CCS-(DS)RF21-4#		706	4
CCS-(DS)RF5421-4#		654	4
CCS-(DS)RF24-3#		706	3
CCS-(DS)RF24-4#	2387	654	4
CCS-(DS)RF5424-4#		654	4
CCS-(DS)RF25-3#		706	3
CCS-(DS)RF25-4#	2539	706	4
CCS-(DS)RF5425-4#		654	4
CCS-(DS)RF27-3#	2691	706	3
CCS-(DS)RF27-4#		706	4
CCS-(DS)RF5427-4#	2995	654	4
CCS-(DS)RF30-3#		706	3
CCS-(DS)RF30-4#		706	4
CCS-(DS)RF5430-4#		654	4

■屋根材ユニット(厚さ: 1.8mm)

ユニット記号	長さ	幅	数量
CCD-(DS)TF36-2#	3591	700	2
CCD-(DS)TF36-3#		700	3
CCD-(DS)TF5436-2#		654	2
CCS-(DS)RF21-3#	2082	706	3
CCS-(DS)RF21-4#		706	4
CCS-(DS)RF5421-4#		654	4
CCS-(DS)RF24-3#		706	3
CCS-(DS)RF24-4#	2387	654	4
CCS-(DS)RF5424-4#		654	4
CCS-(DS)RF25-3#		706	3
CCS-(DS)RF25-4#	2539	706	4
CCS-(DS)RF5425-4#		654	4
CCS-(DS)RF27-3#	2691	706	3
CCS-(DS)RF27-4#		706	4
CCS-(DS)RF5427-4#	2995	654	4
CCS-(DS)RF30-3#		706	3
CCS-(DS)RF30-4#		706	4
CCS-(DS)RF5430-4#		654	4

末尾の#は屋根材の種類を表わします。

組立・施工要領

長さ違いの連続時の注意

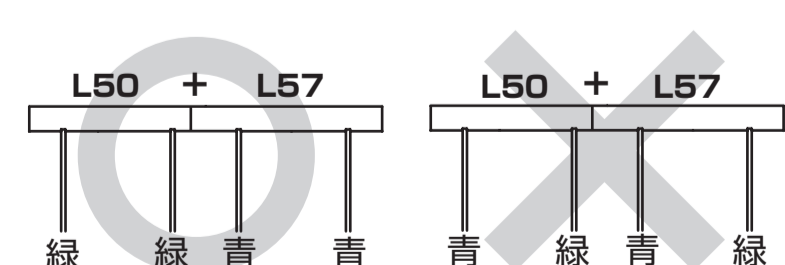
カーポートサイズにより、柱・梁・ジョイント材の強度が違います。
カーポートサイズに対応したラベルの色を確認して施工してください。(部材に色付ラベル有)
間違えた組合せで施工すると、破損の原因となります。延長セット使用時も同様です。
施工後、ラベルをはがしてください。

柱・梁・ジョイント材のサイズ別ラベル色

呼称	D48	D51	D54	D60
延長(L14)	緑	緑	緑	※
L50	緑	緑	緑	紫
L54	緑	緑	紫	青
L57	緑	紫	紫	青

※1460の場合：(L50+L14)は緑、(L57+L14)は青

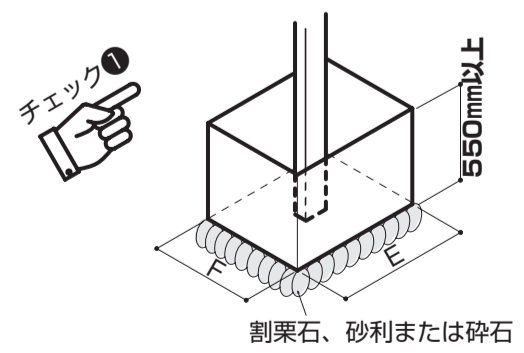
例：たて連続 D54 L50+L57 の場合



1.基礎の施工 寸法図をご覧ください。

お願い

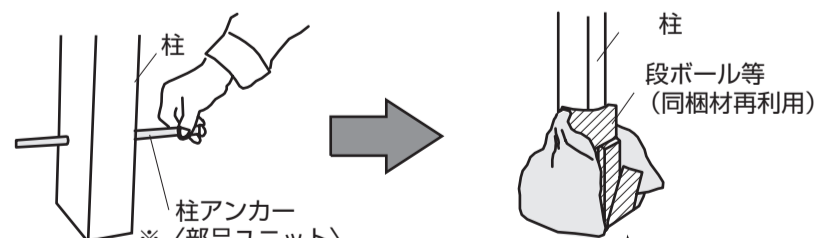
- 地盤のゆるいところでは、さらに大きくしてください。
- 割栗石、砂利または砕石を敷き均し、突固めてください。



2.柱の建込み・仮固定

ポイント

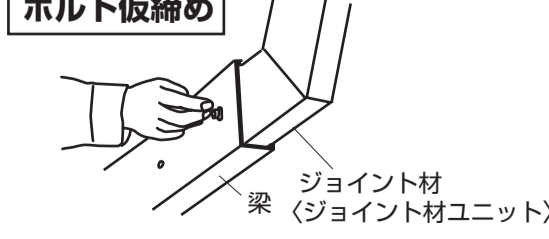
- 柱アンカーの脱落防止
例：輪ゴムを柱アンカーに引っかける



- 土のう袋、木片等を利用して柱を仮固定してください。
- キズ防止のため、柱を段ボール等で養生してください。

3.梁とジョイント材の組立

ボルト仮締め



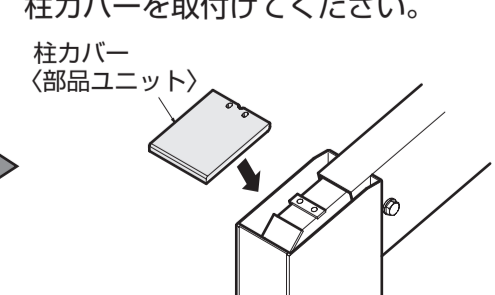
※ボルトは屋根組立・寸法確認後、本締めします。

4.梁の取付



※ボルトは屋根組立・寸法確認後、本締めします。

柱カバーを取付けてください。



※延長セットの場合：棟木・後枠・母屋ユニット

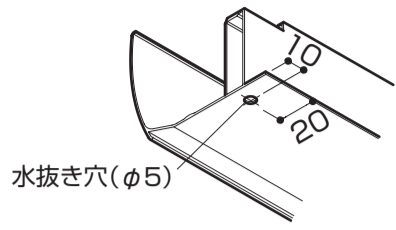
柱を移動した場合

- 前枠・後枠・母屋を梁位置に合わせて穴をあけてください。
- 既存の加工穴には穴塞ぎシール(部品ユニット)を貼ってください。

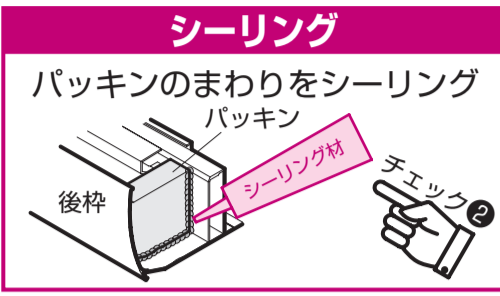
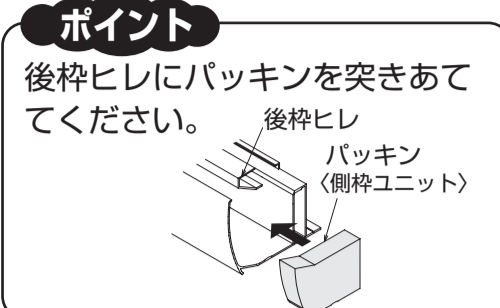
組立・施工要領

5. 後枠の取付 ※長さ切詰めする場合は、長さ切詰めする場合は参照

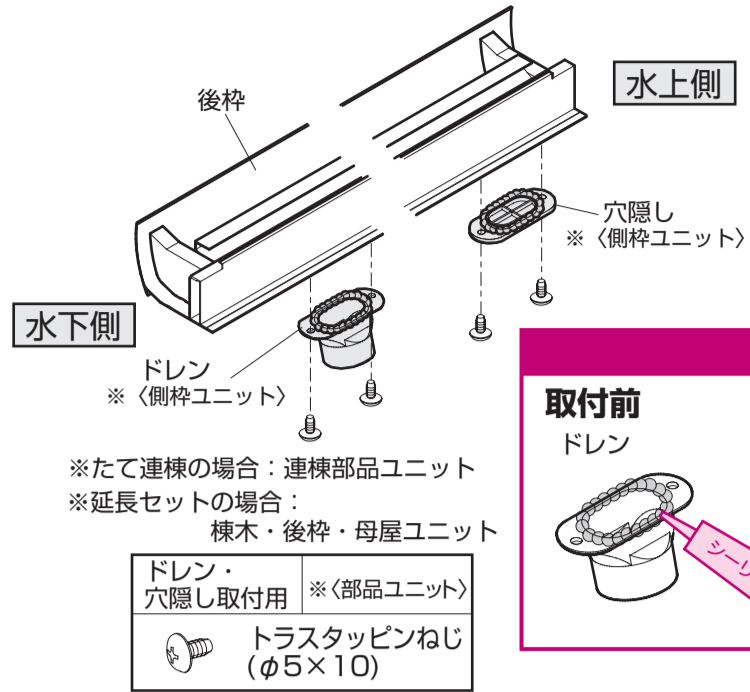
●後枠の水下側に、水抜き穴をあけてください。



●後枠にパッキンを取付けてください。

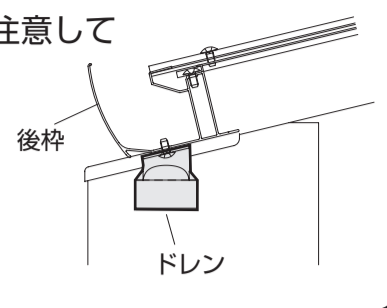


●後枠にドレン・穴隠しを取付けてください。

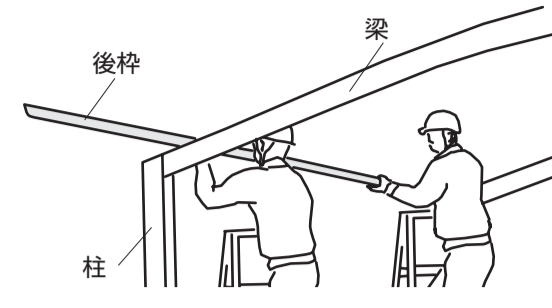


ポイント

ドレンの向きに注意してください。



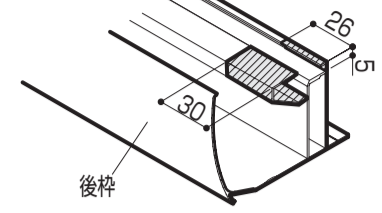
●後枠を取付けてください。



長さ切詰めする場合

切詰め側に左右同様の切欠き加工をしてください。後枠は加工が異なるため、下記を参照してください。

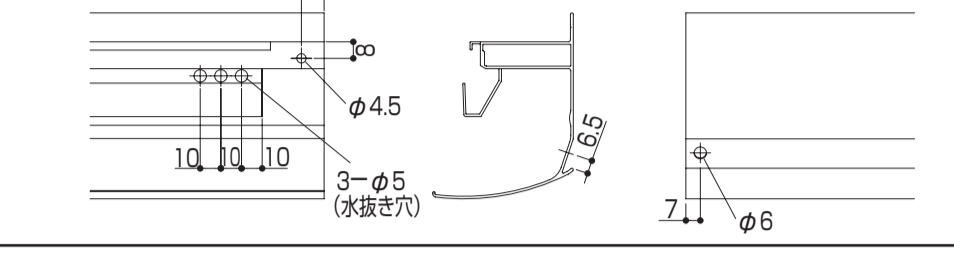
●切欠き



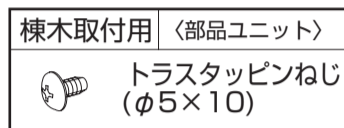
お願い

必ず水抜き穴をあけてください。雨水が排水されず、雨漏りの原因になります。

●穴加工

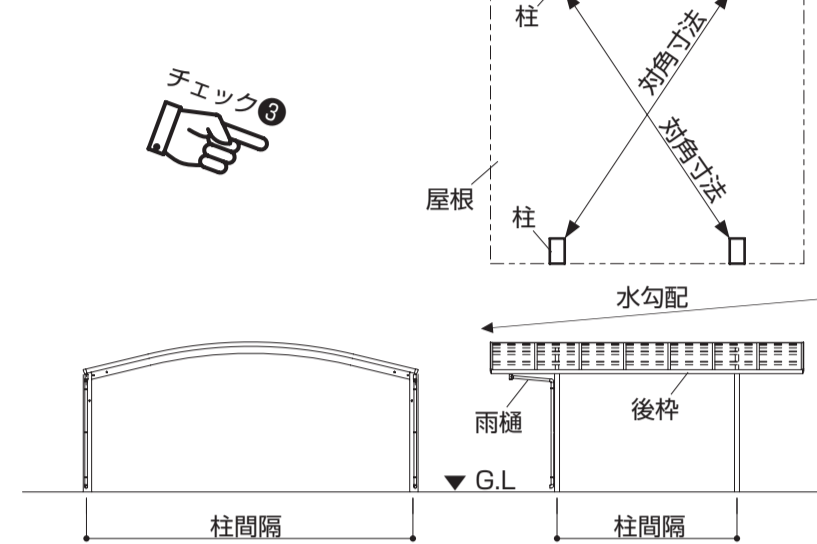


6. 棟木の取付



7. 寸法確認・調整

●柱の間隔・垂直・対角
●後枠(長さ方向)の水勾配
※雨樋取付側が水下側



ポイント

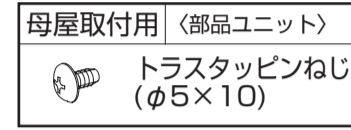
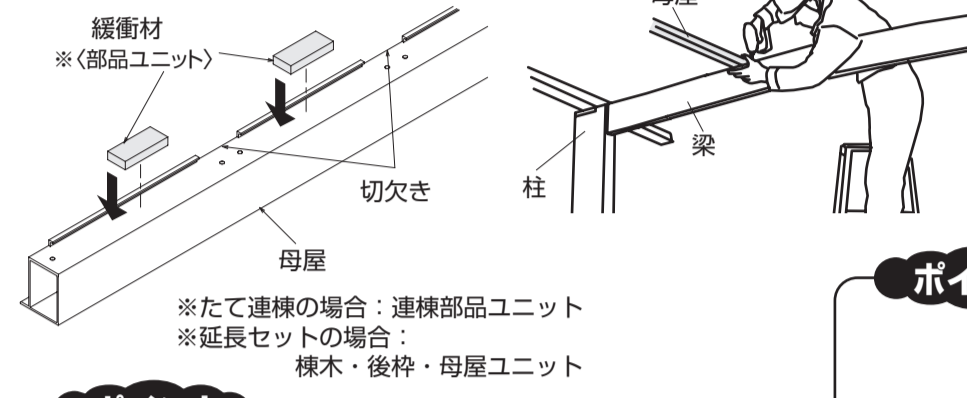
寸法がでない場合は、部材を動かして調整してください。

柱の対角寸法(寸法は調整用の目安)

呼称	対角寸法	呼称	対角寸法	呼称	対角寸法
5048	5338	5448	5447	5748	5560
5051	5592	5451	5695	5751	5804
5054	5848	5454	5948	5754	6052
5060	6372	5460	6422	5760	6518

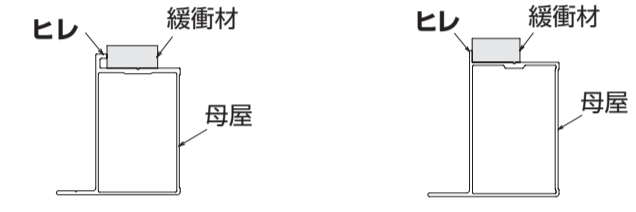
8. 母屋の取付

緩衝材を母屋の切欠きと切欠きの中心部分に貼付け、母屋を取付けてください。



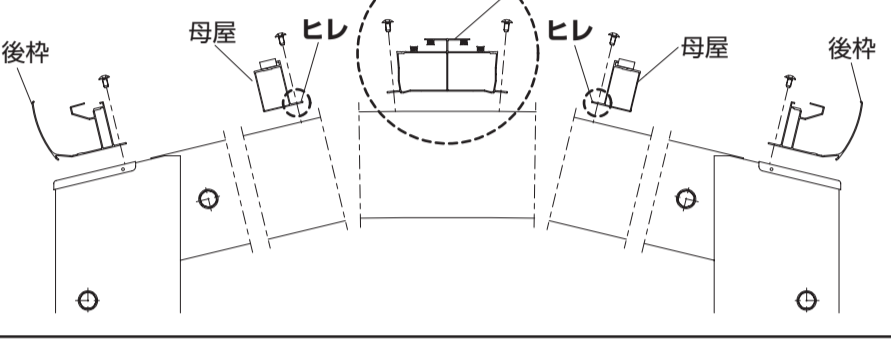
ポイント

母屋のヒシに突き当てて貼付けてください。

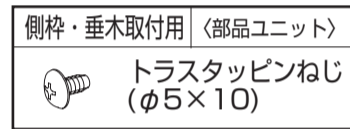
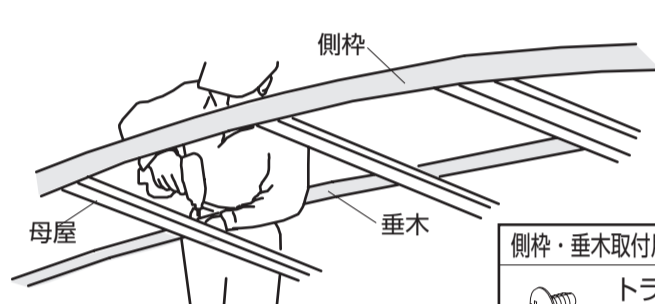


ポイント

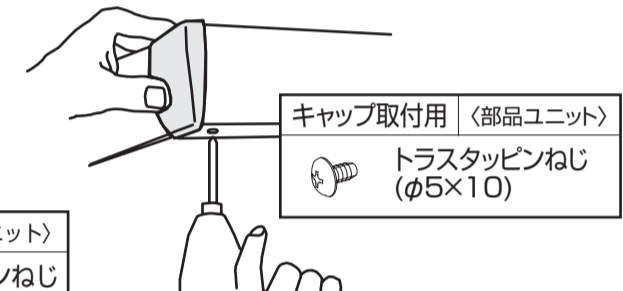
母屋のヒシを棟木側に向けてください。



9. 側枠・垂木の取付



後枠キャップを取付けてください。



ポイント

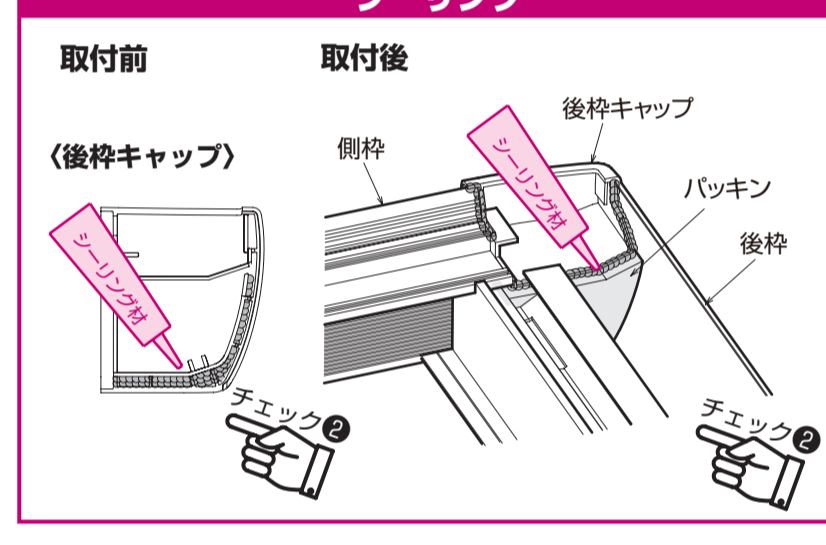
前枠側 → 後枠側 → 母屋部の順でねじ止めすると、穴位置が合わせやすくなります。

お願い

ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。



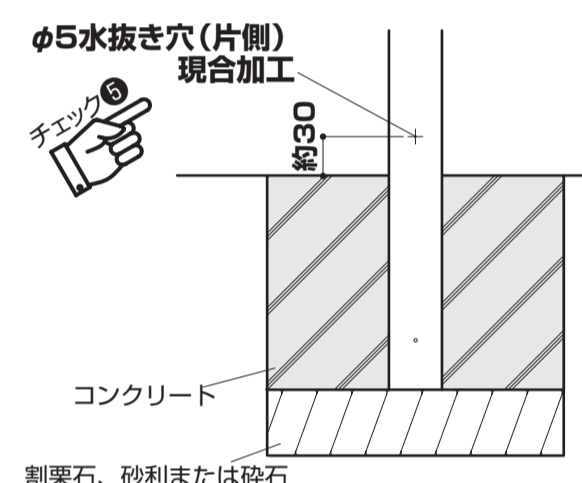
シーリング



10. 本体の仮固定と柱・梁取付ボルトの本締め

●再度寸法を確認してください。
●柱・梁取付ボルトを本締めしてください。

11. 基礎コンクリートの打込み



お願い

凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、必ず水抜き穴をあけてください。

注意

屋根材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、4~7日の養生期間が必要です。

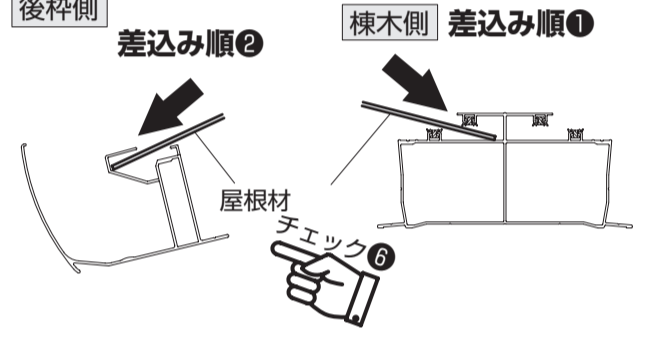
12. 屋根材・屋根材押えの取付

取付前に、屋根材の養生フィルムをはがしてください。



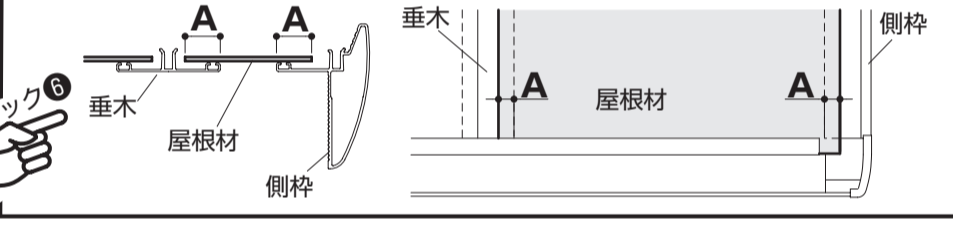
ポイント

後枠の奥にあたるまで押込んでください。



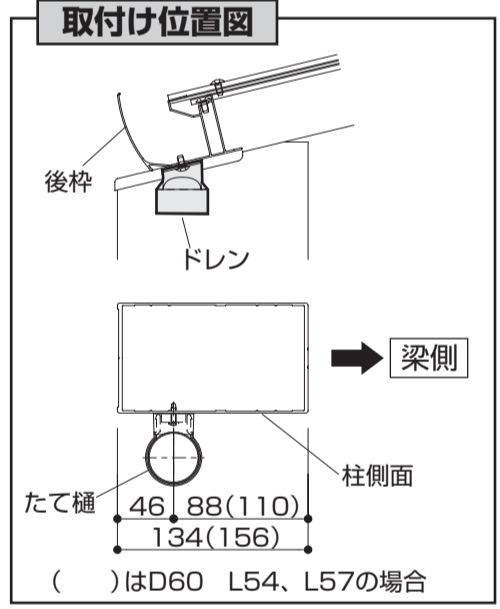
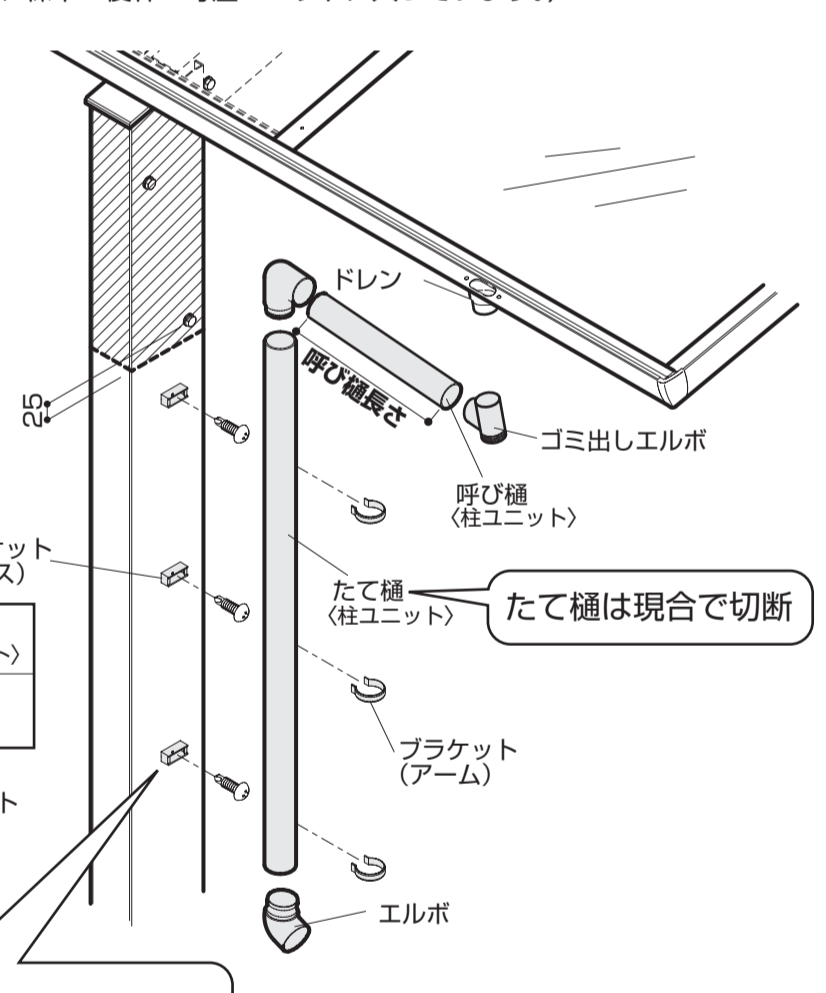
お願い

屋根材のみみ込みAが左右同じになるように調整してください。片側ののみみ込みが浅いと耐荷重性能低下の原因になります。



13. 雨樋の取付

(たて樋・呼び樋以外の部品(雨樋セット)は、部品ユニットに入っています。延長セットの場合、棟木・後枠・母屋ユニットに入っています。)



呼称	切断寸法
L14	331(326)
L50	673
L54	747(742)
L57	831(826)

ポイント

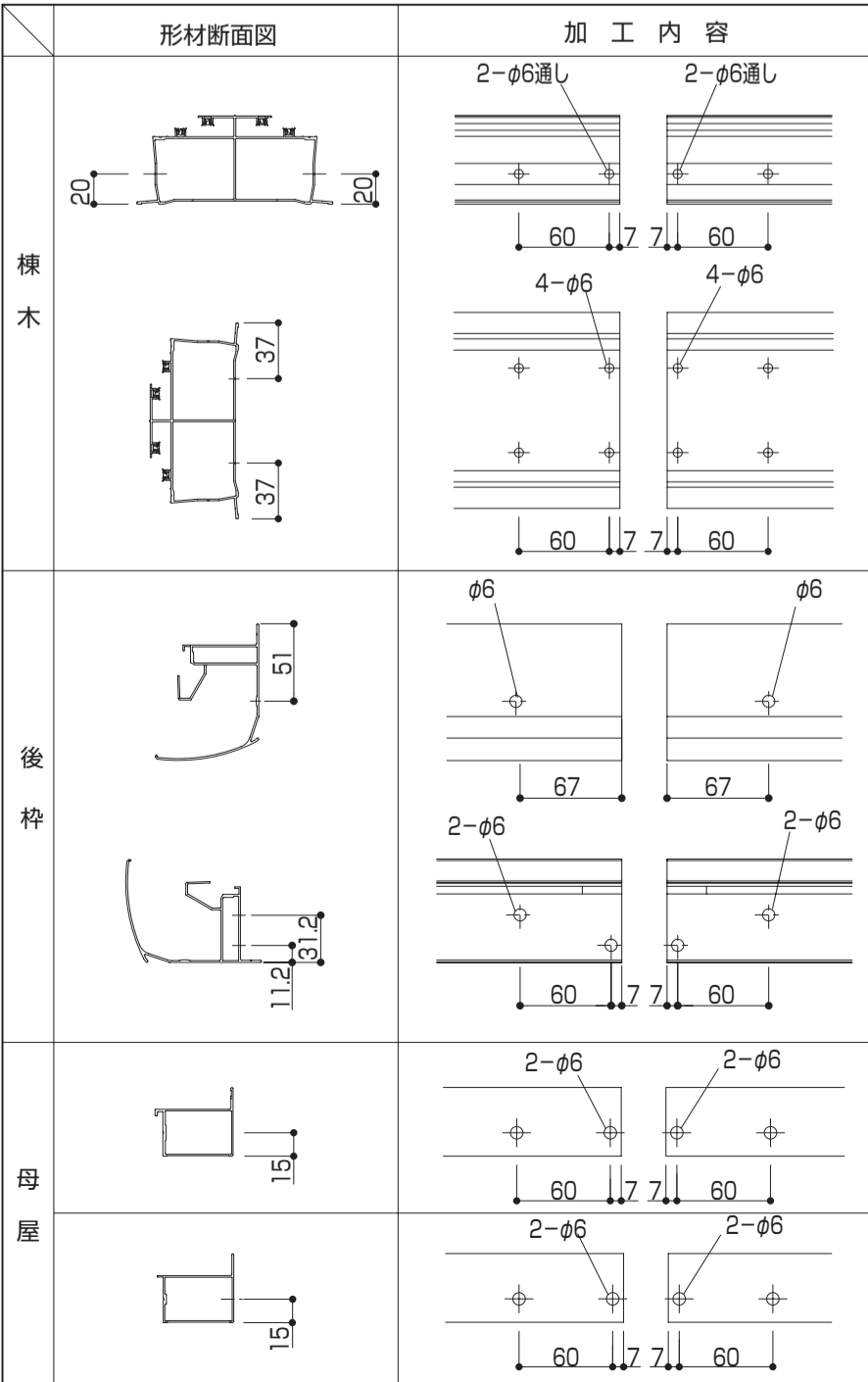
以下の場合、柱に下穴φ3.5をあけてください。
●斜線部のジョイント材部分に取付ける場合
●H28柱(補強材入)に取付ける場合

接着剤で順次接着してください。

たて連棟する場合

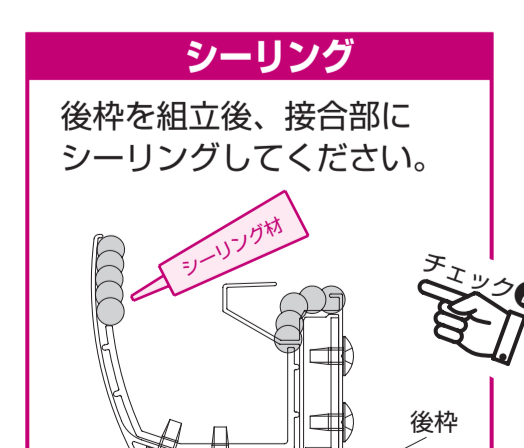
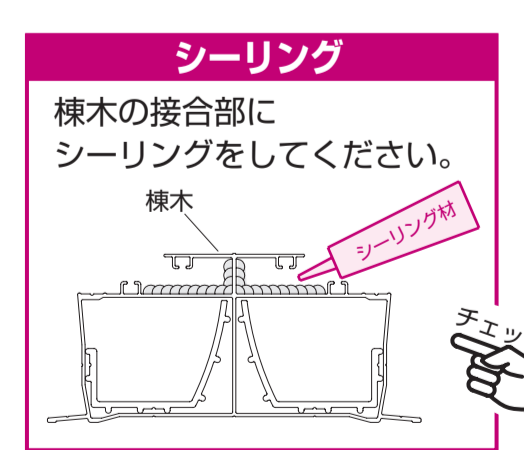
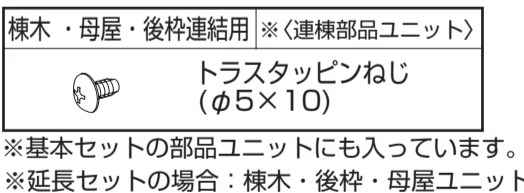
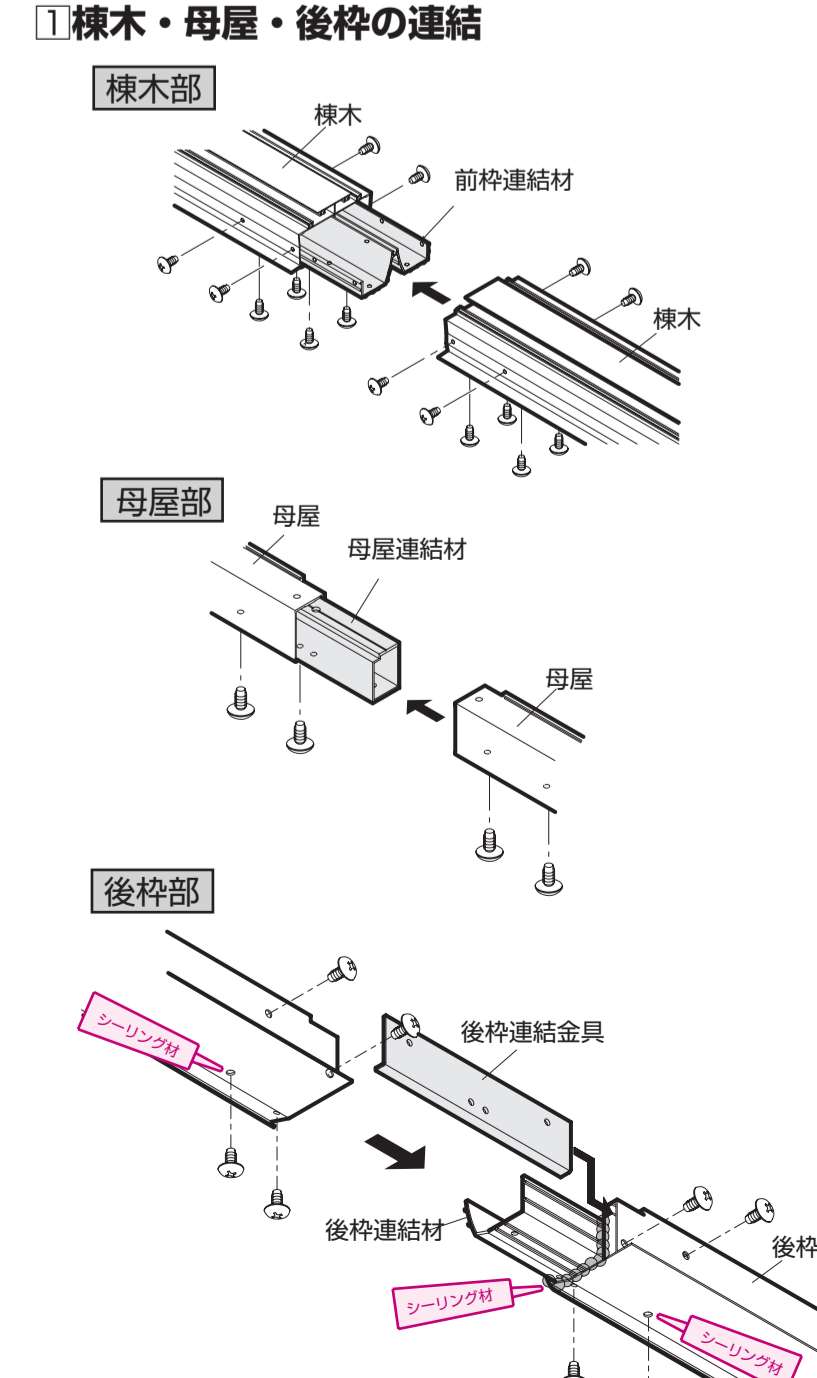
1. 部材の加工

棟木・後枠・母屋の連結部に穴加工(φ6)を行ってください。

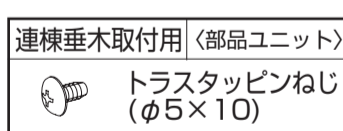
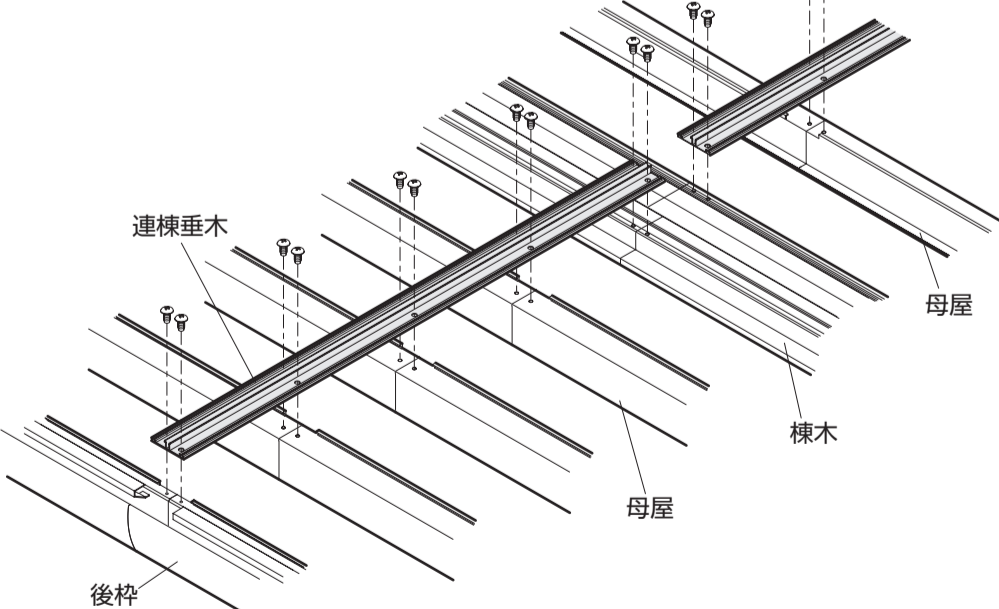


2. たて連棟する場合の組立

●部品は連棟部品ユニットに入っています。延長セットの場合、棟木・後枠・母屋ユニットに入っています。



2. 連棟垂木の取付



●お願い
ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。



3. 棟木接合部のシーリング

